

令和4年度金城こども園の自己評価

金城こども園

1、教育・保育理念・保育観		評価	評価の根拠・改善方法
1	保育教諭一人一人が、金城こども園の保育理念・教育・保育方針を理解している。	4	園内研修・クラス別研修等で周知を図り、理解を深めた
2	金城こども園の教育・保育方針を理解して教育・保育計画が立てられている。	4	園の全体的計画から各年齢の年間計画、月案、週日指導計画へと繋げて作成している
3	常に教育・保育方針や保育観を確認できるような機会を作っている。	4	園内研修・リーダー会・中堅会・各クラスミーティング等の中で意見交換するようにしている
4	一人一人の主体性を大切にした保育をしている。	4	子どもが遊びを選択できるよう工夫し、思いを実現できる環境構成に努めている
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	2	年に4回の個人面談を含め、必応に応じた面談、また送迎時、保護者とのコミュニケーションに努めている
2、教育・保育計画・指導計画			
1	教育・保育方針の、ねらい及び内容が達成できるような全体的な計画や教育・保育計画を立てている	4	認定こども園教育保育要領に基づいて、全体的な計画、年間計画を立て取り組んでいる
2	教育・保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して年間計画、月案、週案を立てている	4	ドキュメンテーションを用いて個別の個性について共有し指導計画へ反映した
3	現在の姿を理解し、見通しをもって一人一人に応じた教育・保育計画を立てている。	3	ドキュメンテーションを用いて、多面的にこども理解に努め、指導計画へ反映させた
4	配慮の必要な子には、その子に応じた教育・保育計画を立てている。	3	特別支援を必要とする子は個別指導計画を作成し、発達の気になる子は定期的に会議を繰り返し対応した
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	3	食育ボードを活用し、食べ物の働きをこども達と考える取り組みや、給食クイズ等で食への興味へと繋げた
2	調理士、保育教諭等が連携し、会議等で意見を交わし合いながらより良い給食になるよう努めている。	3	毎月1回、給食会議を開き、各年齢の給食状況や食育活動の様子など意見交換している
3	出来るだけ地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。	3	地元の青果店から食材を取り入れ、またこども達が栽培した野菜等も活用している
4	給食やおやつは手作りをしている。	4	自園調理を行っている
1	職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営が出来ている。	4	副園長が中心となって役割分掌、業務分担表を作成し、担当以外も連携がとれるよう連携をとっている
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が出来ている。	3	全体研修で、危機管理マニュアルを読み合わせマニュアルの見直しを行った
3	職員が割り当てられた業務分担を把握し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している。	4	役割分担された業務を行い、企画書や報告書を提出し責任を持って活動している
4	園内研修と園外研修の計画を立てて実行している。	3	年間研修計画を立てて実施している。園外研修はリモートが多かったため複数で受講することが出来た
5	施設整備や遊具等の安全点検を行っている。	3	安全担当を中心に安全項目を設け、定期的に点検を行っている
5、保護者支援			
1	保護者と良好な関係をつくろうとしている。	4	登降時に積極的に挨拶・声かけを行い、また、個々に合わせ保護者とこどもの様子を共有できるよう努
2	園の保育内容や子どもの姿が分かるような発信をしている。	3	園のブログ活用、保護者参加行事に写真を掲示し、こどもの様子が分かるよう取り組んだ
3	保護者の状況を理解し、個人情報への漏洩に気をつけている。	4	園の重要事項説明の中で個人情報の取り扱いなどの了承を得て、漏洩に気をつけている
4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	3	個人面談や、送迎時のやりとりを通し、保護者の思いを理解するよう努めた
6、子育て支援			
1	地域に開かれた、日々子育てをしている親子を受け入れている。	2	新型コロナウイルスの影響で最小限にとどめた。
2	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	2	園児以外の幼児にも園庭で遊べるよう、開放を行った

3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。	3	意見要望や相談受付窓口を設けているが、現在の所相談事例がない
4	園生活の子どもの様子を地域にも発信している。	3	活動報告のブログやホームページを開設している
7、小学校や地域社会との連携			
1	定期的に小学校と交流を行っている。	3	毎月校長先生との対話やおたより交換を行った
2	定期的に小学校やこども園との会議や職員交流を行っている。	2	1年生担当教諭との意見交換にとどめた。
3	高齢者施設との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。	2	地域民生員との意見交換にとどめた

4:よくできた 3:できた 2:一部改善が必要 1:改善しなければならない

こども園の自己評価 平均 3.206897 点

園全体の評価

理念方針に基づいた教育・保育活動が展開できている。

職員が安定しているところからより組織的な活動ができるようになり、主体的な活動に加え、園児理解を深めた教育保育に取り組むことができた。

行事に関して、新型コロナウイルス感染防止対策を取り組みつつ、行事や、保護者参加行事も開催した
また、こども園の図書コーナーを活用した「親子絵本貸し出し」や送迎時、園内の保護者出入りも対応できたことで、こども園の様子や保護者とのコミュニケーションも増える機会となり、保護者支援に取り組むことができた。

しかし、こども・保護者・職員が一体となる教育・保育への取り組みについて課題もある。

送迎時の保護者対応、保護者参加型の行事の工夫等を行い、より一体となった教育・保育を行ってきたい。

小学校との接続に関して、隣接小学校との定期会談と小学校1年生担当との意見交換程度になった。
新型コロナウイルスが落ち着き次第、スムーズな就学への支援、地域への情報発信に努めたい。

地域に関して、休園日に家族ずれが園庭を利用する姿が散見される。

こども園を利用している保護者に対して、園庭利用時の約束事の発信や、園庭の定期的な安全点検に取り組んでいるが、管理責任について不安がある。